

東部の わらべ歌



あいさつ

古くから、琉球の島々では、独自の調べに琉球のこぼを乗せて歌われる伝統音楽が身近なものとして楽しまれていました。かつて、こどもたちも、琉球独自の節回しとこぼで日常の暮らし等を歌ったわらべ歌を日々口ずさんでいましたが、現在では、環境の変化により、そういったわらべ歌の存在が知られていません。

日常生活の中で歌われることがなくなってしまった琉球独自のわらべ歌は、伝統的な音楽様式や言語をとどめているのみならず、かつてのこどもたちの世界を伝えてくれる意味でも貴重な資料となっています。

沖縄市教育委員会ではこうしたわらべ歌を記録し、保存するため、市内の明治30年代から昭和初期生まれの高齢者をたずねて、こどもの頃に歌った歌を思い出し、実際に歌ってもらう調査を1988年から実施しています。本書はそのなかから、沖縄市宮里・古謝・大里・高原地域での調査の成果を取り上げて「東部のわらべ歌」としてまとめたものです。

本書が現代のこどもたち、またこどもたちを育てるおとなたちにとって、郷土の伝統文化を深く知り、親しむ手がかりとなれば幸いです。

本書の作成にあたり、調査にご協力いただいた歌唱者はじめ地域の方々、調査と執筆に当たられた比嘉悦子先生に厚く御礼申し上げます。

令和4（2022）年3月

沖縄市教育委員会
教育長 比嘉 良憲

はじめに

I 「東部のわらべ歌」について

- (1) 「東部のわらべ歌」は沖繩市宮里、古謝、大里、高原で採集されたわらべ歌の中から代表的な歌を30曲選んで掲載しました。
- (2) 歌の選定においては、四地域のバランスを考慮しつつ、旋律のより確実な歌、そして多くの人々、特に次代を担うこどもたちに歌い継いでほしい歌を優先して選択してあります。
- (3) 同じ歌でも、地域によって旋律が多少変化して歌われる歌があり、その場合は、地域の特徴を出すために別曲として独立して掲載しました。
- (4) 歌唱者については、巻末の「宮里・古謝・大里・高原のわらべ歌調査月日別成果表」に歌唱者名を掲載してありますので、参考してください。

II 調査について

- (1) 沖繩市のわらべ歌調査は1988年に開始しました。
- (2) 調査は宮里で6回、古謝で3回、大里で1回、高原で1回行ないました。また、高原での民話調査の際にわらべ歌1曲が採集されたため、巻末の成果表に調査日として含めています。
- (3) 採集歌は宮里で79歌、古謝で31歌、大里で10歌、高原で21歌の計141歌が採集されました。なお、採集された歌数にはわらべ歌だけでなく、唱え言葉2歌、小学校で覚えた唱歌2歌、新築祝いなど祝い歌3歌、綱引きやエイサー、ウスデークなどの年中行事の際に歌われる歌20歌、その他の民俗歌謡20歌が含まれています。歌唱を曲とせず、歌として数えたのは、旋律のない唱えや、歌詞のみの歌も採集歌として数えたためです。

III 調査および編集担当

調査	比嘉悦子、宮城昭美、幸喜和子、柴田光子、野原早苗、比嘉幸子、天兒豊、 當山裕貴子、北原真理、宮城利旭、山城綾子
採譜	比嘉悦子
資料整理	宮城昭美、八田夕香
編集	比嘉悦子、八田夕香
イラスト	八田夕香

凡例

I 歌詞と表記について

- (1) 掲載されたわらべ歌は、子守り歌、あやし歌、まりつき歌、遊び歌、動物・虫の歌、自然・天体の歌、からかい歌、歳時の歌、その他に分類した。
- (2) 表題は歌いだしの句をとってつけたものが多いが、動物・虫の歌と「㊟節日歌（宮里）」は歌われる内容に添って編集者が表題をつけた。
- (3) 歌詞は漢字仮名まじり文で表記し、漢字には歌唱者のなまり音のままルビをふった。漢字が当てられる箇所には漢字を用いたが、無理な当て字は避けた。
- (4) はやし言葉、擬音についてのみカタカナで記した。
- (5) 歌詞の表記の中で、のばして歌う箇所は、長短の区別はせずに長音記号「ー」（引音）で示した。

II 楽譜について

- (1) 楽譜は五線譜を基本としたが、沖縄独特な音程や歌唱法を表現するために特殊な記号を追加して用いた。

例)  の表記は音程の定まらない唱えや掛け声をあらわす。

- (2) 採譜は採録時の歌唱者の歌をできる限り忠実な形で再現できるように配慮したが、調律は一般の人々、特にこどもたちの歌いやすい高さにあわせて作譜した。
- (3) 民謡調査においては、歌唱者から歌にまつわるさまざまな生活状況を聞き取りながら歌を録音していくが、時には歌唱者が突然歌い出したり、歌の途中で中断し、次に続く歌詞を思い起こしてまた歌い出すこともしばしばあった。そのような歌は、他の類似曲を検討の上、採譜者によって加筆し、補足した。
- (4) 楽譜につけられたメトロノーム表記は、採録時の歌唱により近い速度を示したものである。歌唱者のほとんどが高齢者であるため、こども時代に歌われた歌が必ずしもその速度であったかどうかは断定できない。歌を再現する時は、楽譜に記された速度にとらわれなくてもよいと思う。
- (5) 調合に（b）とある（ ）のつけられたフラットは、実際はその曲に出てこない音につけられるものであるが、基音を求めるめやすとして表記した。

目次

あいさつ	1
はじめに	2
凡例	3
目次	4
《子守り歌》	
① いったーあんまーまーかいが (宮里)	6
② ヘイヨーヘイヨーかまでーぐわー (大里)	6
③ うまからうっペー (宮里)	7
《あやし歌》	
④ イッシンゲー (古謝)	8
⑤ イーユヌミータークヌミー (大里)	9
⑥ イーユータークー (宮里)	9
《まりつき歌》	
⑦ なかずに美童 <small>みやらび</small> が (宮里)	10
⑧ ていーちみるはま (古謝)	11
⑨ いっくわていたみゆ (高原)	12
《遊び歌》	
⑩ イッポーカッポー (宮里)	13
⑪ イッポーカッポー (高原)	13
⑫ 赤田鳥小堀 <small>あかたとうんじゅい</small> (大里)	13
《動物・虫の歌》	
⑬ 牛 <small>うし</small> もーもー (宮里)	14
⑭ いさとうー (大里)	14
⑮ ほたるの歌 (高原)	14
⑯ ありの歌 (宮里)	15
⑰ ありとみみずの綱引き (高原)	15
⑱ とんぼを採る時の唱え (高原)	15

《自然・天体の歌》

- | | | |
|---|--|----|
| ⑱ | あーかーなーよー (大里) | 16 |
| ⑳ | とーとーめーさい (高原) | 18 |
| ㉑ | 雨 <small>あめ</small> ぬ <small>よ</small> 降いねー (高原) | 19 |
| ㉒ | ていーらぐわんぐわん (宮里) | 19 |

《からかい歌》

- | | | |
|---|--|----|
| ㉓ | 堂 <small>ど</small> ぐわー屋敷 <small>やしち</small> ぬたんめー (高原) | 20 |
| ㉔ | あまからちゅーる <small>ちゅ</small> 美らじゅり小 (大里) | 20 |
| ㉕ | ぬんち寝 <small>に</small> んとーがー (古謝) | 21 |

《歳時の歌》

- | | | |
|---|--|----|
| ㉖ | いー正 <small>せい</small> 月 <small>げつ</small> (宮里) | 22 |
| ㉗ | 節 <small>しち</small> 日 <small>び</small> 歌 (宮里) | 22 |

《その他》

- | | | |
|---|---|----|
| ㉘ | 天 <small>てん</small> から落 <small>お</small> ていたる糸 <small>いと</small> 満 <small>まん</small> ぐわー (宮里) | 24 |
| ㉙ | 尊 <small>と</small> 々 <small>と</small> めーさい (古謝) | 25 |
| ㉚ | がじゃん坂 <small>ばん</small> から (高原) | 26 |

宮里・古謝・大里・高原のわらべ歌調査月日別成果表 27

① いった—あんま—ま—かいが (宮里)

♩ 92



あんぐわ—そ—てい コッコイ

いった—あんま—ま—かいが— ベーベぬ ^{くまか}草刈いが

ベーベぬ ^{まき}まさ草や— ^{はな} ^{わか}畑ぬ若みんな

あんぐわ—そ—てい コッコイ

② ハイヨ—ハイヨ—かまで—ぐわ— (大里)

♩ 108



1. ハイヨ ハイヨ かまでぐわ— そ いりよ—や
2. あば—が あば—が むいたぐわらば そ いりよ—や



かまで ^{ぐわ} ^{べん} ^ごしなりよ — ^いしゃなりよ
まかとう ^{ぐわ} から やぬからやぬ — ^ゆみなりよ



そ—いりかまで— ^{ぐわ} あしじや^{ぐわ}ん さぼ^{ぐわ}—ん
そ—いりまかとう— ^{ぐわ} なんじや^じふ^ん くがに—ん



こていくますぐとう ハイヨ ハイヨ— そ いりよ
こていむたすぐとう そ—いり よ— — まか とう—ぐわ—

(2) ハイヨーハイヨーかまでーぐわー歌詞)

1. ハイヨーハイヨー かまでーぐわー そーいりよーやー かまでーぐわー

弁護士なりよー 医者なりよー そーいりかまでーぐわー

足駄ぐわん 草履ぐわん 買ーてい踏ますぐとぅ

ハイヨー ハイヨー そーいりよー

2. あばーがあばーが 守いたていらば そーいりよーやー まかとうーぐわー

瓦家ぬ瓦家ぬ 嫁なりよー そーいりまかとうーぐわー

銀じーふあん 黄金ん 買ーてい持たすぐとぅ

そーいりよー まかとうーぐわー

(3) うまからうっぺー (宮里)

♩ = 96



うまからうっぺー わ みちぐわ あまからあっぺー いや みちぐわ



ハイヨ ハイヨ な くなよ みみちりぼ じめ たーちよんど



うまからうっぺー いや みちぐわ あまからあっぺー わ みちぐわ



ハイヨ ハイヨ な くなよ

うまからうっぺー わー道ぐわー あまからあっぺー いやー道ぐわー

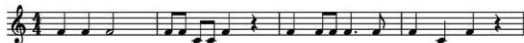
ハイヨーハイヨー 泣くなよー 耳切り坊主ぬ立っちょんどー

うまからうっぺー いやー道ぐわー あまからあっぺー わー道ぐわー

ハイヨーハイヨー 泣くなよー

④ イッシングー (古謝)

♩ 108



イッシン グ はな たたちや やん ばるす が いっちょん ど



あかしん たむの こん そ らに とっないぬは め ちけーしく



ありがるあかしえ こ ゆん ど

イッシングー はな たたちや ^{やんばる}山原すーが ^い入っちょんどー

あかしん ^{たむ}薪のー ^こ買んそーらに ^{とっない}隣ぬはーめー ちけーしくー

ありがるあかしえー ^こ買ーゆんどー

⑤ イーユヌミータークヌミー (大里)

♩ = 112



イ ユヌミ ー タ クヌミ うまからあゝい こが ほ いん ど



クチュクチュクチュ

イーユヌミー タークヌミー うまから 蟻^{かい}こーが 這^いーいんどー

クチュクチュクチュ

⑥ イーユータークー (宮里)

♩ = 76



イ ユ タ ク シ シ メ メ ト フ うりから むしぐわがほやに



クチュクチュクチュクチュ

イーユータークー シーシー メーメー トーファー

うりから 虫^{むし}ぐわーが 這^いーやーに クチュクチュクチュクチュ

⑦ なかずに美童が (宮里)

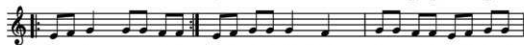
♩ 104



な かつ に み や ら び が あ じ や ま ぬ は 一 な ぬ と う 一 れ ぐ や さ ん



ば す れ く ん ど う し え る ま 一 ゆ ら ど い っ く わ ん よ て い よ



て い ち え て い で い く ん く く ぬ ち く ん じ ゃ ん ぶ に か ら な は た び

た 一 ち え た な ば る

み 一 ち え み ど う し ま

ゆ 一 ち え ゆ る し ま

い ち ち え い ち か じ

む 一 ち え む る し ま

な な ち え な が は ま

や ち え や ん ば る



さ び た ん な 一 は ぬ が じ ゃ の ち ゆ く え じ ゆ さ ぬ と う な



や ど う ち ん さ ん た ま い さ ん た ま い

な かつ に 美 童 が あ じ や ま ぬ は 一 な ぬ と う 一 れ 一 胡 屋 さ ん ば す れ 一

今 度 し え 一 る ま 一 ゆ ら ど 一 い っ く わ ん よ 一 て い 一 よ 一

て い 一 ち え 一 手 登 根 た 一 ち え 一 棚 原 み 一 ち え 一 み ど う 島

ゆ 一 ち え 一 ゆ る 島 い ち ち え 一 糸 数 む 一 ち え 一 む る 島

な な ち え 一 長 浜 や 一 ち え 一 山 原 く く ぬ ち 国 頭 船 か ら

那 霸 旅 さ び た ん 那 霸 ぬ が じ ゃ の 一 人 喰 え 一 じ ゆ 一 さ ぬ

と う な 一 宿 賃 さ ん た ま い

⑧ ていーちみるはま (古謝)

♩ = 116



てい ちえ みるはま ゆ ちえ ゆなばる いちちえ いちかじ む ちえ むりはま



ななちえ ながはま や ちえ やん ばる くくぬちくんじゃん くんじゃん ぶにから



うちぬていんじゃれ な ふぬぬがじゃめ ちちえ じゆ さぬ ちぶるん かちわてい



ちちえん かちわてい

ていーちえー ^{はま}みる浜 ゆーちえー ^{ゆなばる}与那原

いちちえー ^{いちかじ}糸数 むーちえー ^{はま}むり浜

ななちえー ^{ながはま}長浜 やーちえー ^{やんばる}山原 くくぬち ^{くんじゃん}国頭

^{くんじゃんぶに}国頭船から ^ぬうち乗ていんじゃれー

^{な は}那覇ぬがじゃめー ^{ちやく}人喰えーじゆーさぬ

^{ちぶる}頭んかちわてい ^{かちや}蚊帳んかちわてい

⑨ いっくわていたみゆ (高原)

♩ 108



いっくわていたみゆ むん ぬいちむん じゅりぬや ぬ くつびむらむら



むらやびらんたん しんじゅぐんじゅなるかん をうとうんむた さん やーんぬくんど



いなむじゆからち むたさや ちるぐわ ちるぐわ あんしみそりよ うまにうまに

いっくわていたみゆ ^{むん} 門 ^{いちむん} ぬー門 じゅりぬやーぬ

くつびむらむら むらやびらんたん

^{しんじゅ} 四十 ^{ぐんじゅ} 五十なるかん ^{をうとうん} 夫ん持たさん ^む やーんぬくんどー

いなむじゆからち ^む 持たさやー ちるぐわー ちるぐわー

あんしみそりよー うまにー うまにー

⑩ イッポーカッポー (宮里)

♩ = 108

イッポカッポ じゅにがにが ちくむく ちんぼらが
うどうん - ぬくしんじ ふるが エイ

イッポーカッポー じゅーにがにーがー ちくむく ちんぼーらが
うどうん くし
御殿ぬ後うてい ふーるが エイ

⑪ イッポーカッポー (高原)

♩ = 108

イッポカッポ じゅにがしら やんざい けーとうてい
ちゃーすが ぶつくい ひやぐわ

イッポーカッポー じゅーにがしーらー やんざい
けー取^とていちやーすが ぶつくいひやーぐわー

⑫ 赤田鳥小堀 (大里)

♩ = 112

あかたとうん - じゅむいーう じゃにどうる
たてい てい うりがあか - がりば
みーるくゆ がー ふ ワタブツメ - ワタブツメ

あかたとうんじゅむい 赤田鳥小堀 どうるた うーじゃに 灯籠立^たていてい
あか うりが明^あがりば あかるくゆがよ 弥勒世界報 ワタブツメー ワタブツメー

⑬ 牛も一も一 (宮里)

♩ = 120

うし も も た かい ど た ぬ み じん
 くん て し ね あさ ばん ゆ ばん に じら さ り ん ど

うし 牛も一も一 た- 田かいど一 た- 田ぬ水ん くんて-しーねー
 あさばん 朝飯夕飯 ゆ-ばん ぬ-くわ が 何喰たが
 に じら さ り ん ど一 糞ひっちやる

⑭ いさとう一 (大里)

♩ = 108

いさとう いさとう ゆ びぬゆ ばん ぬ くわ が あか ま み どう
 くわ たーる だん じゅがだん じゅが くすひつ ちやる

いさとう一 いさとう一 ゆ-びぬ夕飯 何喰たが
 あかまみ 赤豆どう喰たる だんじゅが だんじゅが 糞ひっちやる

⑮ ほたるの歌 (高原)

♩ = 104

うていりよー チンチン さが り よー チンチン
 さ た や ぬ く し か ら くーくわてい うていり よー チンチン

う 落ていりよー チンチン さ 下がりよー チンチン
 さ-た-やー 砂糖屋ぬ後から く-くわ 粉喰てい う 落ていりよー チンチン

⑩ ありの歌 (宮里)

♩ = 104



ありくんちゃー どうしゆりく がにくぬめ んじ がにやちくいら

あり 蟻くんちゃー 友どしゆ呼りくー かにくぬ前めんじ 蟹がにや焼ちくいら

⑪ ありとみみずの綱引き (高原)

♩ = 112



いぬも んじ てくうちゆしえ たがやらんじ



んじていんちゃれ あいこぐわとうみみじとう ちなひちポんポん

いぬも 上ぬ毛んじ 太鼓打ちゆしえー 誰がやらんじ んじていんちゃれー

あい 蟻こぐわーとう 蚯蚓とう綱引ち ポんポん

⑫ とんぼを採る時の唱え (高原)

♩ = 96



たーみがよ くらくーくーく

たーみがよー くら くらーくー

⑱ あか—な—よ— (大里)

♩ = 112



あかなよ — あかな—まかいめんしえがあかな



にしぬうみかい — がにとういがわんねいちゆんみじらし



むん — ひるまし むん チヤブ — チヤブ



あかなよ — あかな—がにとう—ていぬすが
あかなよ — あかな—がにとう—ていぬすが



わうむやに — くいゆん うむやにくいゆん
わうむやに — くいゆん うむやにくいゆん



ワタブツメ — ワタブツメ あかなよ — あかな—
みじらしむん — みじらしむん



いゃうむや—や たやが にしぬうみぬ — ちくむく



ちくむくちんぼ — ら チヤブ — チヤブ



ワタブツメ — ワタブツメ

あーかーなーよー あーかーなー

まーかいめんしえが あーかーなー

にしぬ海^{うみ}かい 蟹^{がにとろ}捕^といが わんね^いー行^いちゆん

珍^{みじら}しむん ひるましむん

チーヤーブー チーヤーブー

あーかーなーよー あーかーなー

蟹^{がにとろ}捕^とてい 何^ぬすが

わー思^うむやーにくいゆん 思^うむやにくいゆん

ワタブトゥメー ワタブトゥメー

あーかーなーよー あーかーなー

蟹^{がにとろ}捕^とてい 何^ぬすが

わー思^うむやーにくいゆん 思^うむやにくいゆん

珍^{みじら}しむん 珍^{みじら}しむん

あーかーなーよー あーかーなー

いやー思^うむやーや 誰^たやが

にしぬ海^{うみ}ぬ ちくむく ちくむくちんぼーらー

チーヤーブー チーヤーブー

ワタブトゥメー ワタブトゥメー

⑳ とーとーめーさい (高原)

♩ = 120



と と め さい - と と め - うん じょ ま か い めん し え が



に しぬ う みぬ いゆぐわ とういが わん ね い ちゆー る



わん うむや に - くい ゆんて いや うむや や た やーが



とんちぬめ ぬ ちゅうくさん

とーとーめーさい とーとーめー うんじょーまーかいいめんしえーが

にしぬ^{うみ}海ぬ^{いゆ} 魚ぐわ^とー捕いが わんね^いー行ちゆる

わん^う思むやーに^くいゆんてー

いやー^う思むやーや^た 誰やが

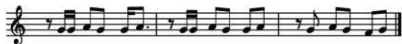
とんち^ぬぬ^め前ぬ^{ちゅうく} 美ら奥さん

⑳ ^{あみ} ^ふ 雨ぬ降いねー (高原)

♩ = 100



あみぬ 降いねー かさかんでいけ かさやねらん とうないんじかていくわ



とうないぬ じよに まじむんたっちよん ぼむっちうれ

^{あみ} ^ふ 雨ぬ降いねー ^{かさ} ^い 笠かんでいけ
^{かさ} 笠やねーらん ^{とうない} ^か 隣んじ借ていくわー
^{とうない} ^{じよ} 隣ぬ門に ^た まじむんぬ立っちよん
^{ぼむ} ^う 棒持っち追ーれー

㉑ ていーらぐわんぐわん (宮里)

♩ = 112



ていーらぐわんぐわん ていていたほり いしみちわりるか ていていたほり

^{ていーら} 太陽ぐわんぐわん ^{てい} 照ていたほり
^{いし} ^{みち} 石道 割りるか ^{てい} 照ていたほり

②③ 堂ぐわ一屋敷ぬたんめ一 (高原)

♩ = 116



どぐわ一屋敷ぬ たんめ一ぐわ一

あたび一捕いが めんそらに

芋に一食でいから 行ちゆさ

門に待つちより 待つちよ一れ一

②④ あまからちゆ一る美らじゆりぐわ一 (大里)

♩ = 88



あまからちゆ一る美らじゆりぐわ一

しんだんぎ一 榎木から け一落ちていてい

ゆ一じよ一 養生ひ一じよ一するえ一ま

こ一ぐちんま 腰ちん曲がてい

②⑤ ぬんち寝んとーがー (古謝)

♩ = 100



ぬんち^にんとーが わたぬや^でい ちゅこ あらんが やけし^にがた



はかま やが やかん^じやぬすば ちゃ^うくいが やかた^みてい

ぬんち^に寝んとーがー

わた^やぬ痛^でい

ちゅこーあらんがやー

け^しー死^にがーたー

はか^ま募^まーやがやー

かん^じおーやー
鍛冶屋ぬすば

ちゃ^うーし^く 送^いがや

か^た担^みてい

②⑥ いー正月 (宮里)

♩ = 96



い そーぐわちや うすめ は め わかくなみそ ち

いー正月やー うすめー はーめー 若くなみそーち

②⑦ 節日歌 (宮里)

♩ = 76



しよがちにんぐわち さんぐわちー さんぐわち なりば さんぐわ ちや
 るくぐわち なりば うーまちー しちぐわち なりば うん け



しんぐわち なりば あぶし ば れ ぐんぐわち づつかぬ ひ
 はちぐわち なりば -じゅー ぐ や あしびん すつちん ど



は り ぶ に ん ならすつー ちさ くんぐわち な りば - む ぬ め -
 わつ た ま で い ん うどづさやー



じゅぐわち な りば ぬんね らん しむちち な りば とづん じ じゅ し



し わ し そ ぐ わ ち や とづし や とづたくとづ わかげーたん



トゥントウンテン トゥントウンテン

しゅーがち にんぐち きんぐち きんぐち
正月 二月 三月 三月なりば さんぐわちやー

しんぐち
四月なりば あぶしばれー

ぐんぐちゆっか ひ はーりーぶに
五月四日ぬ日 爬龍船んならすっちさ

るくぐち しちぐち
六月なりば うまちー 七月なりば うんけー

ほちぐち じょーく や あし
八月なりば 十五夜 遊びんすっちんどー

うどう
わったーまでいん踊ゆさやー

くんぐち じょーぐち
九月なりば むぬめー 十月なりば ぬーんねーらん

しむちち とんじー しわーし そーぐち
霜月なりば 冬至じゅーしー 師走 正月や

とよし とう わかげー
年や取たくとう 若返たん

トウントウンテン トウントウンテン

②⑧ ^{ていん} 天から落^うていたる ^{いちゆまん}糸満ぐわー (宮里)

♩ 92



ていん からうていたる いちゆまんぐわ いくたい ちりてい うていたがや



みちやい ちりてい うていゆたん うりがうていたん とうくるやま やが



や なんなん ぐしくぬ ち たっちゅ

^{ていん} 天から落^うていたる ^{いちゆまん}糸満ぐわー ^{いくたい} 幾人連^ちりてい落^うていたがやー

^{みちやい} 三人連^ちりてい落^うていゆたん

うりが落^うていたん とうくるやまーやがやー

なんなん^{てしく}城ぬ ちーたっちゅー

②^{とーとー} 尊々めーさい (古謝)

♩ = 108



と とーめ さい ー と と めー いったーと と



め ぐわ とう わつ た と と ー め ぐわ とう



あんしに ちよー る いちむ ん がー や たーら

^{とーとー} 尊々めーさい ^{とーとー} 尊々めー

いったー^{とーとー} 尊々めーぐわーとう わつたー^{とーとー} 尊々めーぐわーとう

あんし^に似ちよーる ^{いちむん} 一門がやたら

③0 がじゃん坂^{びら}から (高原)

♩ = 120



がじゃん^{びら}から うり^{たい}ぬ^{ぶたい} わたぬ^{やりど}



から^{じぬ}やりど い^{しゃ}ね い^んじゃ^んてい^{まん} の^ーらん^{たる}むん



わ^った^とう^ない^ぬ か^まど^うん^ぐわ^ーが の^ちく^いて^き



う^りが^うん^じえ く^みぬ^いつ^すに^す じん^ぬし^くわ^ん く^いた^んど

がじゃん^{びら}坂^{から} 下^りたい^ぬ登^{たい}

わた^や腹^ぬ痛^りどー から^じや^髪ぬ^痛りどー

い^しや^医者^ねーい^んじゃ^んてい^{まん} の^ー治^{らん}たる^{むん}

わ^った^とう^ない^ぬか^まど^うん^ぐわ^ーが の^ー治^ちく^いて^きさ

う^りが^うん^じえ^ー く^みぬ^いつ^すに^す じん^ぬし^くわ^ん く^いた^んど^ー

宮里・古謝・大里・高原のわらべ歌調査月日別成果表

〔宮里〕 採集歌数：79曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	1989年 10月11日	1989年 11月22日	1989年 12月19日	1990年 1月10日	1991年 7月10日	1992年 6月30日	計
1	1501	比嘉秀栄	大正14(1925)	沖縄市桃原					5		5
2	1503	宮里ウト	明治43(1910)			3		12			15
3	1504	島田ウキ	大正 8(1919)	沖縄市宮里				1			1
4	1505	園田トメ	明治38(1905)	沖縄市美里		4	12				16
5	1506	大城静子	大正 8(1919)	本部町備瀬		1					1
6	1508	長嶺文子	大正 3(1914)	那覇市小禄		2					2
7	1511	照屋キヨ	大正 5(1916)	沖縄市泡瀬			13				13
8	1513	仲泊フル	明治45(1912)	沖縄市仲原 (風来村)		1					1
9	1514	島田キヌ	大正 5(1916)	沖縄市宮里			5				5
10	1515	池原ヨシ	大正 3(1914)	沖縄市(コザ)			2				2
11	1516	上根ウサ	明治31(1898)	与那城町池味	22					2	24

〔古謝〕 採集歌数：31曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	1990年 2月21日	1990年 2月28日	1990年 3月6日	計
1	1701	宮里信榮	明治41(1908)		5			5
2	1702	宮里フル	明治40(1907)	沖縄市古謝	2	1	3	6
3	1704	金城眞良	明治40(1907)	沖縄市美里	4	4		8
4	1705	田場カマド	明治39(1906)		2			2
5	1706	諾見里マツ	大正元(1912)	具志川市上江洲	2		7	9
6	1707	宮里政喜	明治40(1907)			2		2
7	1708	知念善助	大正 7(1918)	沖縄市古謝		1		1
8	1716	知念秀俊	大正 7(1918)			2		2

〔大里〕 採集歌数：10曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	1991年 7月1日	計
1	1901	仲宗根マヅル	明治40(1907)	沖縄市桃原	10	10

〔高原〕 採集歌数：21曲

番号	唱者ID	唱者名	生年	出身地	1990年 3月11日	1993年 2月1日	計
1	2101	長嶺シズ	明治45(1912)	沖縄市泡瀬		8	8
2	2102	島袋ユキ	大正 6(1917)	沖縄市高原		4	4
3	2103	島袋フミ	明治45(1912)	沖縄市高原		3	3
4	2104	仲村美津子	大正 8(1919)	沖縄市高原		3	3
5	2105	新田キヨ	大正 7(1918)	沖縄市高原		1	1
6	2106	宮里盛義	明治44(1911)	沖縄市高原		1	1
7	2107	宮里フル	明治44(1911)	沖縄市高原	1		1

※歌唱数について
この表は唱者それぞれの歌唱曲数を示しており、1つの歌を複数唱者が合唱している場合は唱者毎に1曲の歌唱として計数している。これによる重複のため、唱者毎の歌唱数の合計は採集歌数とは一致しない。

※※出身地について
調査当時に唱者から得た回答を、修正を加えずそのまま表記した。そのため、現行の市町村名や字名とは異なる地域名で記載されている場合がある。

沖縄市文化財調査報告書第51集

東部のわらべ歌

令和4年(2022)年3月31日発行

発 行 沖縄県沖縄市教育委員会

編 集 沖縄市立郷土博物館

〒904-0031

沖縄県沖縄市上地 2-19-6

TEL098-932-6882

印 刷 (有)曙印刷

沖縄県沖縄市泡瀬 4-31-15

TEL098-938-7884



2022年3月
沖縄県沖縄市教育委員会